

	<p>東京都</p> <h1>台東区</h1>  <p>区章</p>	<p>【データ】平成29年4月1日現在</p> <p>人口：194,639人</p> <p>面積：10.11km²</p> <p>区の木：さくら</p> <p>区の花：あさがお</p> <p>特産物：皮革製品、伝統工芸品</p> <p>主な祭：三社祭、隅田川花火大会 浅草サンバカーニバル、した まちコメディ映画祭 in 台東</p> <p>担当：健康部健康課</p> <p>電話 03-5246-1178</p>
<p>台東区長 服部征夫</p>		

● 台東区の特徴

台東区は、東京23区で一番面積が小さい区ですが、豊かな歴史や芸術・芸能、ものづくりの伝統など、心が生み出す本物の文化にあふれた多彩なまちです。

平成28年7月に世界遺産登録が決定した国立西洋美術館をはじめ、美術館や博物館が多く存在する「上野」、芸能と庶民文化の一大中心地である「浅草」、昔ながらの町並みが残る「谷中」など、下町の人情とぬくもりが息づく個性ある地域が本区をかたちづくり、一年中にぎわいにあふれています。

特に、産業の分野においては、皮革関連産業をはじめ、ファッション雑貨やジュエリー、伝統工芸など、さまざまなものづくり産業が集積しています。地場産業の活性化が将来の台東区発展の基盤になると捉え、「台東区産業フェア」の開催など、意欲的な事業者を支援し、台東区ブランドを世界に発信していく取組に力を入れています。

● 花の心プロジェクト

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、すべての区民が花を慈しむ心、思いやりとおもてなしの心を持って、花で町を飾り、心豊かでうるおいのあるまちにする、それが「花の心プロジェクト」です。平成28年4月から5年間、この取り組みを通じて、おもてなしのまち台東区を世界に向けてアピールしていきます。



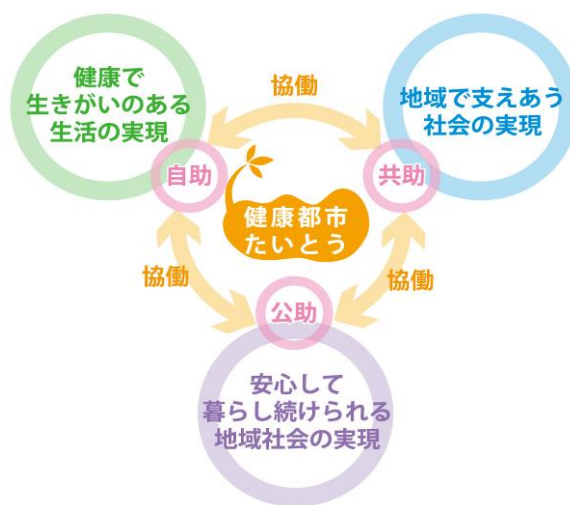
不忍池周辺の桜

● 健康都市としてのあゆみ

平成5年10月1日に制定された「台東区健康都市宣言」は、「自らの健康は一人ひとりの自覚と健康的な生活習慣の実践」を基本に、区と区民が一体となって健康施策を推進することを高く謳いあげ、その後の「健康日本21」などの基本的な考え方を先取りし、先駆的に実現しようとするものでした。

平成19年12月1日には、旧健康都市宣言の考え方を継承しつつ、台東区らしい健康づくり施策を展開するため、新たな要素である「共助」を取り入れた「たいとう健康都市宣言」を行いました。

健康づくりは「個人と家族と地域が共に支えあう社会」という考えを広く区民に呼びかけ、いきいきとした「暮らしやすいまち」を区民と地域社会と区が一体となって作ってまいります。



● 健康たいとう21推進計画（第二次）

健康たいとう21推進計画とは、区民による自主的な健康づくりと、それを支える保健施策や保健医療体制を一体的・実効的に推進するための計画です。

平成25年度からの第二次計画は、3つの基本理念と4つの基本目標からなり、計画期間については、平成15年度からの前期計画、20年度からの後期計画と同様に5カ年計画となっています。

この計画は、「健康日本21（第二次）」の地方計画としての側面と台東区の地域特性に応じた保健と医療に関する計画としての側面を併せ持つものです。

現在、平成30年度からの次期計画策定に向けて、準備を進めています。

